

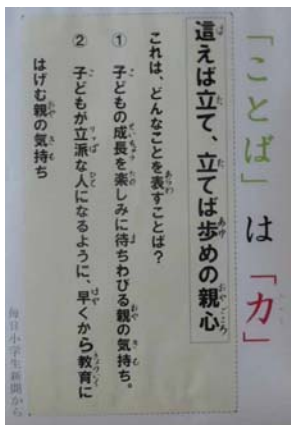
# かけはし



## 日本語って難しい？おもしろい？



◆今、1階の中央廊下に、こんな掲示物が貼ってあります。



なぜなに  
パワー

こんき  
パワー

子どもたちにもう少し「言葉の力」をつけることができれば…、日頃使っている言葉にもう少し興味や関心をもってもらえたら…と思って設けたコーナーです。話したり、聞いたり、考えたり、書いたり…。言葉は、すべての学習の基本となります。小学生の間に少しでも多くの言葉と出会

い、多くの言葉を使うことができるよう、意欲を高めていきたいと考えています。

◆話は変わりますが、「足」と「脚」、それぞれの読み方と意味はご存じですか？ どちらも「あし」と読みますが、意味は少し違うようです。「足」は足首から先の部分。歩く、走る、行くなどの動作に見立てたもの。「脚」は動物の胴から下に伸びた部分。また、それに見立てたもの。と説明されています。こうした言葉を「異字同訓」と言います。同じ読み方（訓読み）をするけれど字が違うし意味も違うという漢字です。その使い分けも結構ややこしいんですね。「温かい」と「暖かい」、「熱い」と「暑い」などがそれにあたります。他にもたくさんあります。その使い分けについては、文化庁HPに『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』として掲載されていますので、ぜひのぞいてみてください。

◆もう一つ、【役不足】という言葉の意味はご存じでしょうか？ いわゆる慣用句（2語以上の単語が結合し、ひとまとまりとして特定の意味を表すもの）ですが、本来の意味で理解している人と、本来と異なる意味で理解している人がいるようです。【役不足】の本来の意味は、本人の力量に対して役目が軽すぎることでしょうか、本人の力量に対して役目が重すぎることでしょうか、さてどちらでしょう。正解は、本人の力量に対して役目が軽すぎることを意味しています。間違っ理解している人の方が多い例だそうです。【煮え湯を飲まされる】【敷居が高い】なども、その一例だそうです。これも、動画『ことば食堂へようこそ！』で公開されていますので、ぜひのぞいてみてください。

異字同訓 [http://www.bunka.go.jp/kokugo\\_nihongo/bunkasingi/pdf/ijidoukun\\_140221.pdf](http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/bunkasingi/pdf/ijidoukun_140221.pdf)

慣用句動画 [http://www.bunka.go.jp/kokugo\\_nihongo/kokugo\\_sisaku/kotoba\\_shokudo/](http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kokugo_sisaku/kotoba_shokudo/)

◆日本語ってなかなか難しいものです。でも、とてもおもしろく奥深い言葉でもあります。